

「ネイチャー」誌、全掲載論文の閲覧を無料化（12月2日）

学術誌「ネイチャー（Nature）」を発行するマクミラン科学教育社（Macmillan Science and Education）は12月2日、同誌に掲載される全論文に関し、閲覧を無料とすることを発表した。但し、論文のコピー、印刷、ダウンロードなどはできない。

この決定は、同社のネイチャー出版グループ（Nature Publishing Group：NPG）部門が発行する「ネイチャー」誌以外の48誌にも適用される。これは、図書館及び個人に対して論文へのアクセスを提供する購読料収入を維持したまま、科学者が論文を自由に閲覧・共有できるようにするという同社の試み。これらの論文閲覧には、同社が開発費の大半を出資したソフトウェア・プラットフォーム「リードキューブ（ReadCube）」が使用される。なお、本方針は、研究資金助成団体の多くが、研究者に対して無料閲覧・ダウンロード・再使用が可能な論文発表を義務付ける傾向が高まりつつある現状を受けて取られた措置である。

Nature, Nature makes all articles free to view

<http://www.nature.com/news/nature-makes-all-articles-free-to-view-1.16460>